

3. 研究の実践と計画

(1) 昭和57年度の実践

月	実践内容
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 「生活のしおり」による実態調査。 ◦ 「生徒の生活・行動」に関するアンケート ◦ 生徒指導に関する調査（教師対象） ◦ 研究主題，研究組織の設定 ◦ A A I，学力テスト，Step，知能などの諸検査とその活用法の検討 ◦ 定期教育相談，第一回事例研究会 ◦ 「学習指導」と「学業指導」についての輪読会（生徒指導の手引） ◦ 各研究部の実践計画の作成 ◦ 生徒の体験発表会，親子球技大会の実施 ◦ 個人カードの記入と活用方法の検討
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 第一回話しかけ運動とその分析 ◦ 学習の約束「P.D.S学習の設定」 ◦ 自主来談による教育相談（生徒が相談したい先生を選ぶ） ◦ 学校訪問による指導（県南教育事務所） ◦ 千葉大学教授 教育学博士 坂本 昇一教授からの指導 ◦ 先進校視察（桃山中，茂木中，醸芳中） ◦ 広報紙による保護者への協力依頼 ◦ 生徒の体験発表会（部活動の反省） ◦ 第二回話しかけ運動とその分析
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 「P.D.S学習」の意識調査 ◦ 中間発表の紀要作成ならびに指導案作成 ◦ 2月15日（火）中間発表会（研究の反省と今後の課題についてのまとめ） ◦ 第三回事例研究会 ◦ 第三回話しかけ運動とその分析

(2) 昭和58年度の計画

月	実践計画
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 実態把握のための諸検査（A A I，学力テスト，Step） ◦ 研究計画の再検討 ◦ 第二回「P.D.S学習」意識調査 ◦ 学校祭のテーマ決定「和」 ◦ 第一回授業研究 ◦ 方部懇談会ならびに親子球技大会の実施 ◦ 松本恒雄，鈴木忠夫，両先生からの指導 ◦ 全校集会（部活動の反省） ◦ 親子球技大会の実施（ソフト・バレー） ◦ 個人カードの記入と変容調査
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 第三回「P.D.S学習」意識調査と分析 ◦ 全校集会（夏休みの体験）の実施 ◦ 「教科学習上のなやみ」を解決する教育相談の実施とその検討 ◦ 部活動のしおり（部活動におけるP.D.S学習）作成 ◦ 第三回授業研究会 ◦ 学校祭のシンボルマーク決定 ◦ 研究発表会の紀要ならびに指導案作成 ◦ 10月24日（月）研究発表会（研究の反省と今後の課題についてのまとめ） ◦ 第二回話しかけ運動とその分析
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 生徒が相談したい先生を選ぶ教育相談 ◦ 第5回校内授業研究会 ◦ 第三回話しかけ運動とその分析 ◦ 生徒の体験発表会（一年間の反省） ◦ 研究の反省と今後の課題についてのまとめ（研究主題の設定）